



追手門学院大学
笑学研究所年報

第 3 号



2017 年度

追手門学院大学笑学研究所

目 次

活動報告

第1回ユーモアスピーチコンテストを終えて	高垣 伸博	1
第1回「思わず笑顔になる文章コンテスト」について	真銅 正宏	5
「日本笑い学会研究発表」初体験記	高垣 伸博	11
「落語鑑賞会」桂團治郎氏・桂米紫氏・桂南天氏の落語を聞いて	横田 修	23

講演記録

第3回笑学研究所公開講座「障がいと笑い」に登壇をして	大谷 邦郎	27
2017年度笑学研究所活動記録		33
2017年度笑学研究所所員および研究員一覧		35
追手門学院大学笑学研究所規程		

第1回ユーモアスピーチコンテストを終えて

追手門学院大学笑学研究所所長 高垣 伸博

失恋談・失敗談・創作話などオリジナルならなんでも OK！3分間スピーチにチャレンジしませんか！！優勝 50,000 円分、2位 30,000 円分、3位 10,000 円分の QUO カード。応募資格は追手門学院大学、大学院、高校生。

思い返せば、一昨年のことである。いつ頃だったかは詳細に覚えていないが、学長室で坂井前学長と真銅先生の3人で「笑学研究所で何かできないか？」と打ち合わせをした。

研究以外でなにか？をする。興行会社でもなければイベントでもない。一体何をすればよいのか。

学生を主体に「笑い」を絡ませたことで何かないだろうか。安直なところでは「大学対抗落語コンテスト」も考えられたのだが、江戸落語や小咄を生んだ近世笑話集「醒睡笑」を記した安楽庵策伝の生地、岐阜県で「全日本学生落語選手権」なるものが毎年開催され、すでに十数回を重ねている。

そこでジャストアイデアとして提案したのが「ユーモアスピーチコンテスト」であったと記憶する。発想は学生版「R-1 グランプリ」である。しかし、そこは学生を対象としたコンテストであり、大学の研究所が主催するものであるから、芸を競うのではなく「スピーチ」を競う。そして、単なるスピーチではなく「笑い」を交えた「ユーモアスピーチ」のコンテストである。

本研究所の設立趣旨に「(前略) ぎくしゃくした人間関係を解きほぐし、コミュニケーションを豊かにするための有力な手段としての笑わせる能力や技能の分析研究 (中略) 研究と活動を通して、まさに、人生の楽しさと人間の幸福に、また人材の育成に貢献していきたいと考える。(後略)」とある。このコンテストはまさに「笑わせる能力や技能を手段とし、聞くものを楽しませることのできる人材育成」を体現するものであり、ひろく学生が参加し、継続してゆくことで、追手門学院の将来も明るくなるであろう、との思いを込めた企画であった。企画としては合意したものの、その後具体的に動くこともせず、いたずらに時間が過ぎてしまった。何とか開催に漕ぎつかねばと重い腰を上げたのは2017年度の春学期も半ばを過ぎた頃であった。

初動の遅れから、募集告知も不十分なまま、応募者の音声ファイルによるオーディションを行い、本選出場者を6人に絞った。審査員は本研究所特別顧問で前学長の坂井東洋男先生、同じく特別顧問で通天閣観光(株)の西上雅章社長、故秋田實氏(漫才作家)の孫で漫才作家の藤田曜氏、



毎日放送前アナウンス部長・加藤康裕氏にお願いした。

果たして、將軍山祭初日11月4日(土)3号館3106教室において午後2時30分、無事にコンテストは始まった。満員とは言い難いが、温かく見守る来客を前にして、参加学生の面々は「ユーモアスピーチ」にチャレンジしてくれた。ここに出場者を発表順に記しておく。

国際教養学部国際教養学科(3)山岸勇大君、経営学部経営学科(1)岡本和也君、心理学部(3)木佐凌一郎君、同(2)大野加奈子さん、同(2)荻原宏貴君である。(※当日急遽1名病欠、カッコ内学年は2017年度現在)

それぞれ個性あふれる「ユーモアスピーチ」を披露してくれた。その結果、木佐凌一郎君が栄えある第1回優勝の栄冠を手にした。参加してくれたユーモアある、また、勇気ある5人には改めて拍手を贈るとともに感謝する。

このコンテストも彼ら同様、チャレンジ精神とユーモアの心を持った多くの追手門の学生・生徒が現れることで、回を重ねることができる。近い将来は本学のみならず、在阪の大学、在関西の大学、そして日本……欲をかかずに、第2回開催を目指して、早めの準備にかかりたい。



写真1 スピーチコンテストの様子



写真2 コンテスト優勝者の学生



あなたのユーモアセンスが全開！

聴衆を笑顔に！

場内を爆笑の渦に！

第1回 追手門学院 ユーモアスピーチコンテスト

出場者募集!

失恋談・失敗談・創作話など オリジナルならなんでもOK！3分間スピーチにチャレンジしませんか!!

決勝戦

2017年11月4日(土) 午後2時30分～

将軍山祭で優勝者が決まる!

優勝	50,000円分のQUOカード	2位	30,000円分のQUOカード	3位	10,000円分のQUOカード
----	-----------------	----	-----------------	----	-----------------

応募資格 追手門学院大学・大学院・高等学校の在学学生であること

応募要領 スマホ・PC等で3分以内のスピーチを録音して、音声ファイル(m4a、MP3)をメールに添付してお送りください。
音声データによる予選を勝ち抜いた精鋭が、決勝戦に進出となります。

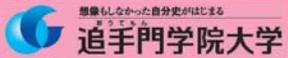
募集期間 2017年7月17日(月)～9月30日(土)

詳しくは大学ホームページをご覧ください。
https://www.otemon.ac.jp/event/other/_5943.html



主催：追手門学院大学・笑学研究所

応募 笑学研究所
お問合せ TEL. 072-665-5024 speech@otemon.ac.jp



スピーチコンテスト募集チラシ



ユーモアあふれるスピーチで
会場を笑わせて、
見事勝ち上がるのは誰だ!?

一次予選通過者による
3分間のプレゼンで、
優勝者が決定!

第1回 追手門学院
ユーモアスピーチコンテスト
決勝戦
at. 将軍山祭

2017年11月4日**土**
14時30分開演(14時開場)



申込み不要
当日直接会場に
お越しください

会場 追手門学院大学3106教室
(大阪府茨木市西安威2-1-15)

審査員 加藤 康裕 (毎日放送 前アナウンス部長)
坂井 東洋男 (追手門学院大学 前学長・笑学研究所特別顧問)
西上 雅章 (通天閣観光株式会社 代表取締役社長・笑学研究所特別顧問)
藤田 曜 (漫才作家)

(五十音順)

問合せ先
笑学研究所 TEL. 072-665-5024 speech@otemon.ac.jp
(主催) 追手門学院大学・笑学研究所



スピーチコンテスト決勝戦チラシ

第1回「思わず笑顔になる文章コンテスト」について

追手門学院大学笑学研究所所員、図書館・情報メディア部長 真銅 正宏

2008年に設けられた文章コンクール「青が散る」Awardを発展的に継承し、追手門学院創立130周年記念事業の一つとして、「思わず笑顔になる文章コンテスト」が、本年2017年に創設されました。第一回の募集要項を資料1に掲げております。

このコンテストの最大の特徴は、本学の笑学研究所およびライティングセンターの全面的な協体制の下、大学をはじめ学院諸学校の立地する大阪の特徴の一つでもある「笑い」をテーマにした点です。何より「笑顔」が大切であること、このことが大学の個性の一つになればと願っております。

名誉審査委員長に、本学4期卒業生で、通天閣観光（株）代表取締役社長の西上雅章氏、名誉顧問に、笑学研究所設立にご尽力された、前学長の坂井東洋男氏にご就任いただきました。お二人は、我が笑学研究所の特別顧問でもあります。

記念すべき第1回の本年度は、資料2に掲げました詳細のとおり、7891作品という、これまでになく多くの応募数を得ました。いずれも力作ぞろい、優秀作品の選定は、量と質の両面から困難を極めました。

第一次審査は、図書館の課員3名で行われ、第二次審査および最終審査は、追手門学院大学に設置されている笑学研究所の所員およびライティングセンターの担当教員により行われました。いずれもご多忙のなかでの献身的なご尽力でした。

最終審査結果は、資料3のとおりです。表彰式は、2018年1月20日（土）13時から15時までの予定で、通天閣のSTUDIO 210にて開催されます。

笑学研究所は、本学において、「笑い」をキーワードとするあらゆる分野の事業に、中心的または象徴的に関わる存在となりつつあります。このような重責を、いつまでも「笑顔」のまま担い続けられる環境を保持すること。我が大学の未来に向けて、このことを心より祈ります。

2017年12月21日



学校法人追手門学院創立130周年記念事業

追手門学院大学 通天閣観光株

たくさんの「笑顔作品」を募集します

第一回 思わず笑顔になる文章コンテスト

かうてもん 追手門学院大学と企業がプロデュースする作文コンクールです。

主催: 追手門学院大学 共催: 通天閣

後援: HITACHI Inspire the Next Glico FUJITSU

テーマ 「読めばみんながしあわせになる…がテーマです」

募集作品 作文・エッセイ(郵送・FAX) / つぶやき:140字以内(スマートフォン・郵送・FAX可)

対象 小中高・大学生・一般 募集期間 2017年6月15日~2017年9月15日

主催: 追手門学院大学 共催: 通天閣観光株式会社 後援: 株式会社日立製作所、江崎グリコ株式会社、富士通株式会社

資料1 表【確定版チラシ】思わず笑顔になる文章コンテスト



思わず笑顔になる文章コンテスト 募集要項

テーマ ▶ 「読めばみんながしあわせになる…がテーマです」

募集作品 ▶

1. 作文・エッセイ・原稿用紙400字～600字以内(郵送・FAX)
 2. つぶやき:140字以内(スマートフォン・郵送・FAX可)
- ※作文・エッセイは、縦書き400字起原稿用紙(A4)を使用
(ワープロの場合、一行20字に設定すること)
ホームページにて専用原稿用紙をダウンロードできます
※スマートフォンからのつぶやきの応募はこのチラシの
表面のQRコードからアクセスし、専用の応募フォームよりご応募ください
※複数作品を応募される場合には作品数が分かるよう明記をしてください
※未発表のオリジナルの作品に限ります
※応募原稿は返却いたしません
※パソコンをお使いでない方は、
市販の原稿用紙に必要事項を記載した用紙を同封の上、ご郵送ください

募集期間 ▶

2017年6月15日～2017年9月15日

応募方法

応募用紙(本学ホームページにも掲載)に必要事項を記入し、下記までご郵送ください。E-mailでもご応募いただけます(メール本文に作品と応募用紙必要事項をご入力ください。セキュリティ上添付ファイルでは受付しません。)

応募/お問い合わせ

追手門学院大学図書館
思わず笑顔になる文章コンテスト係
〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
TEL:072-641-9638 FAX:072-643-9786
E-mail:egao@otemon.ac.jp
http://www.otemon.jp/enl/

対象 ▶

小・中・高校生、大学生
(予備校生、専門学校生、短大生 などを含む)、一般

賞

- 最優秀作品賞** 作文・エッセイの部、つぶやきの部から各1名
賞状、および副賞(5万円相当)、後援企業からの副賞
- 優秀作品賞** 各部門1名
賞状、および副賞(2万円相当)、後援企業からの副賞
(小学校低学年部門、小学校高学年部門、中学校部門、
高校部門、大学・大学院部門、一般部門)
- 通天閣賞** 作文・エッセイの部、つぶやきの部から各1名
賞状、および副賞(1万5千円相当)、後援企業からの副賞
- 審査員特別作品賞** 作文・エッセイの部、つぶやきの部から各1名
賞状、および副賞(1万円相当)
- 佳作** 作文・エッセイの部、つぶやきの部から各10名
賞状、および副賞(5千円相当)

※該当作品がある場合の上増設とします

名誉審査委員長 西上雅章 (通天閣観光(株)代表取締役社長:本学4期卒業生)

名誉顧問 坂井東洋男 (本学助学長)

審査員 本学小・中・高・大学教員 など

審査結果発表

2017年12月中旬
思わず笑顔になる文章コンテストのホームページ上で行うとともに、入賞者へ通知いたします

表彰式

2018年1月20日(土)
大阪通天閣STUDIO210(つうてん)

個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報につきましては厳重に管理をし、本企画で使用その他、追手門学院からの広報物をお送りする場合があります
入賞作品の著作権は本学に帰属し、電子・ホームページなどで公表予定

思わず笑顔になる文章コンテスト 応募用紙

該当するものにホールペンドで印をつけ、氏名・住所などをご記入ください

【テーマ】 「読めばみんながしあわせになる…がテーマです」(楽しいこと・ほほえましいこと・ユーモアあふれること など)

【タイトル】 「 _____ 」 (タイトルをご自由に設定してください)

- 【応募作品】 1. 作文・エッセイ(400字～600字以内)
2. つぶやき(140字以内)

【応募区分】 1. 追手門学院関係者(在校生・卒業生) 2. 小・中・高校生、大学生(予備校生、専門学校生、短大生 などを含む) 3. 一般

【認知媒体】 1. チラシ 2. ポスター 3. ホームページ 4. 郵便物 5. 紹介 6. その他(_____)

氏名 <small>しめい</small>	性別	
住所 <small>じゅうしょ</small>		
電話	FAX	E-mail
ご職業		
在学中の方はご記入ください		
学校名(_____)	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・短大・大学・大学院	
学年(_____)年(_____)組	学部(_____)	追手門学院大学生のみ学籍番号(_____)

主催:追手門学院大学 共催:通天閣観光株式会社 後援:日立製作所株式会社・江崎グリコ株式会社・富士通株式会社



第1回 思わず笑顔になる文章コンテスト



応募総数について (ご報告)



平素は、追手門学院大学の活動に、ご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。
さて、第1回思わず笑顔になる文章コンテストの応募総数につきまして、下記のとおり報告いたします。
ご協力くださいました皆様に、心より御礼申し上げます。

追手門学院大学図書館・情報メディア部長 真銅正宏

応募総数 第1回：7,891 作品

つぶやき

小学校	22
中学校	334
高等学校	1,609
大学・大学院(※)	405
一般	1,043
合計	3,413

※短期大学・専門学校を含みます

作文・エッセイ

小学校	935
中学校	1,230
高等学校	2,094
大学・大学院(※)	66
一般	153
合計	4,478

※短期大学・専門学校を含みます

二次審査：11月中旬 受賞者発表は12月中旬を予定しています。

2016年度応募総数	6,908作品
2015年度応募総数	6,620作品
2014年度応募総数	4,766作品
2013年度応募総数	5,114作品

2013～2016年度は、文章表現コンクール「青が散る」Awardとして実施しました。

資料2 応募総数 (報告)



第1回 思わず笑顔になる文章コンテスト

受賞者発表

平素は、追手門学院大学の活動に、ご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。
さて、第1回思わず笑顔になる文章コンテストの受賞者につきまして、下記のとおり報告いたします。
ご協力くださいました皆様に、心より御礼申し上げます。

追手門学院大学図書館・情報メディア部長 真銅正宏

つばやきの部 (応募総数3,413作品)

最優秀作品賞	山本 優汰	追手門学院高等学校 2年
優秀作品賞	奥田 遼	追手門学院小学校 1年
	澤田 健	追手門学院小学校 4年
	松井 路美	大阪教育大学附属平野中学校 3年
	桑木 智可	大阪市立南高等学校 1年
	木田 明歩	追手門学院大学心理学部 2年
通天閣賞	小川 賢人	千葉県立松戸南高等学校 1年
審査員特別作品賞	金森 華	新大阪歯科衛生士専門学校 2年
佳作	浮田 紗里	大阪教育大学附属平野小学校 1年
	末岡 礼子	追手門学院小学校 1年
	田邊 誉人	追手門学院小学校 5年
	吉岡 七海	大阪教育大学附属平野中学校 3年
	釜 麻里愛	八代白百合学園高等学校 1年
	八木 友希	新大阪歯科衛生士専門学校 3年
	小南 孝顕	追手門学院大学経営学部 3年

作文・エッセイの部 (応募総数4,478作品)

最優秀作品賞	南 七帆	西宮市立南甲子園小学校 2年
優秀作品賞	内海 紗琉	追手門学院小学校 3年
	高見 勇瑠	追手門学院小学校 4年
	松吉 紗弥	白梅学園清修中学校 3年
	玉井 準	京都府立鳥羽高等学校 3年
	井高 成二	追手門学院大学国際教養学部 2年
	森園 順子	一般・兵庫県明石市
通天閣賞	熊谷 華子	追手門学院大学心理学部 1年
審査員特別作品賞	水野 佳奈	追手門学院小学校 5年
佳作	吉川 寧音	追手門学院小学校 1年
	音頭 綾斗	追手門学院小学校 3年
	杉岡 慎太郎	追手門学院小学校 4年
	中野 成実	関西創価小学校 6年
	近藤 心	追手門学院大手前中学校 2年
	野村 彩乃	神戸市立湊翔楠中学校 3年
	井上 ほのか	追手門学院高等学校 1年
	山根 裕司	智辯学園高等学校 2年
	川嶋 一平	兵庫県立神戸商業高等学校 3年

資料3 受賞者発表

「日本笑い学会研究発表」初体験記

追手門学院大学笑学研究所所長 高垣 伸博

前所長・井上宏先生の「笑い学会で発表したらどうですか」という優しいお誘い？に、ウカっと「わかりました、発表します」と答えてしまったのがきっかけだったと記憶するのだが、果たして「2017日本笑い学会第24回大会」にエントリー、そして発表という運びとなった。

大会は2017年7月15日（土）16日（日）、会場は石巻専修大学である。亀山紘石巻市長が日本笑い学会の石巻支部長を努めておられること、また、東日本大震災復興支援の意味合いもあって、この地で開催された。

そもそも「日本笑い学会」は1994（平成6年）7月9日に設立され、初代会長が当研究所前所長の井上宏先生である。

さて、話しを学会発表にもどす。他の学会のことは知らないのだが、「日本笑い学会」の大会概要を簡単に説明しておく、初日午前中は開会式、午後から発表、その後会場を変えての懇親会。二日目は午前の部、午後の部の発表のあと、記念シンポジウム、閉会式と言う段取りである。特徴的なのは発表が研究発表会会場とワークショップ会場の2会場での同時進行ということである。というのも、この「日本笑い学会」は大学関係などの研究者から医療関係者や一般人まで「笑い」に関心のある幅広い会員で構成されているため、研究発表だけではなく、笑いに関するパフォーマンスなどの発表の場も設けられているのである。来場者はプログラムを見て、自分の興味ある発表会場を行き来するのである。

私は勿論研究発表の方なのだが、事前に送られてきたプログラムを見ると、私の出番は（普通、学会で出番とは言わないだろうが…）二日目の午前。「なんで初日にしてくれへんの！」、思わず気が重くなった。二日目の午前には気を確かに持って発表できるのか。というのも、私の初陣を応援すべく研究所の先生方が初日に現地集合、翌日帰阪のスケジュールで大会に参加されるからであった。と言うことは初日の晩は前夜祭をしないわけにはいかない。（こともないのだが…）

往路、仙台駅で真銅先生と遭遇して石巻までご同行。石巻に着いて最初にしたことは、前夜祭の場所探しと予約であった。その後、他の先生方と合流して大会に参加、「日本笑い学会」石巻大会の雰囲気に酔いしれながら、本格的な「酔い」を求めていざ前夜祭へ。金華サバに焼きガキ、牛タンに美味しいお酒と、翌日に発表を控えた緊張感をほぐすには十分すぎる前夜祭であった。

当日は比較的しっかりした意識で目覚めることに成功した。一足先に会場へ向かうためにホテル



を後にして、学会用の送迎バス乗り場に集合したのだが、手違いでバスが大幅に遅れて、会場に着いたのが開始時刻9時20分の10分ほど前であった。数名の発表者のデータ確認などを大慌てで済ませて、5分遅れで二日目の発表が始まった。

私の発表時刻はプログラム上は11時20分である。「そんなことはどうでもエエ！何を発表すんねん」「ハイ、仰るとおりです」

発表のテーマは『若者の笑いに関する調査報告』である。2015年10月の笑学研究所発足当初からの共同研究テーマである「若者の笑いの研究」の第一段階である「追大生の笑いに関する意識調査」の初年度中間報告と言う位置づけであり、また研究所を代表しての発表である。しかし、発表の主たる目的は笑学研究所の名を売ることである。その目的からすると、追手門学院大学には「笑学研究所」があり、その設立趣旨が何たるかは発信できたはずである。

念のため、発表の要旨を記載しておくことにする。

2017年7月16日「2017日本笑い学会第24回大会」

『若者の笑いに関する調査報告』

この報告は追手門学院大学・笑学研究所の共同研究の報告である。

「笑学研究所」は追手門学院大学に2015年10月に設立された。

初代所長は井上宏先生。目指すべき姿は『教育・文化のグローバル化に対応できるコミュニケーション力を備えた人材育成のための笑いとしの融合をめざした、総合的な学術研究所』であり、また、設立方針の中に「笑いを活用した教育プログラムの研究」がある。

まだ研究の途に就いたばかりであるが、手始めに「現代の若者」つまり追手門学院大学生の「笑い」に対する意識はどうなのか、を調査することにした。

この調査を始めるにあたっては、非常に興味深い、また、大変参考になる論文があった。笑い学研究第22号に掲載されている青砥弘幸先生の『現代の若者の「笑い」に関する実態とその課題』と題した論文の中で『学校教育における「ユーモア能力」育成の在り方を検討してゆくための基礎的な知見を得ることを目的として、大学生に対して実施した』である。

奇しくも、我が研究所の目指す方向と同様であり、これを参考にさせていただいたことをお断りしておく。(注)青砥先生は今回の学会でも、私の前に発表されている。

その中で青砥先生は8つの視点から調査・考察をされていたが。特にそのうちの4項目が共通点であった。

- ・「人間関係形成力」つまりコミュニケーション力に関するもの。
- ・「人間関係形成力としての笑い」、つまり対話における「笑い」に関するもの。
- ・「伝統文化としての笑い」
- ・「言語能力としての笑い」



今回は「人間関係形成力」つまりコミュニケーション力に関するもの。「人間関係形成力としての笑い」、つまり対話における「笑い」に関するものの報告に留めておく。

調査方法

- ・追手門学院大学生（1～4年）482人（男性238人 女性228人 性別無回答16人）を対象に行った。
- ・出身：大阪府下251人含む近畿439人
- ・実施期間は2016年9～11月
- ・無記名による紙アンケートで合計24問を、主に5段階（1～5）の中からの選択回答方式と解答例からの選択、また自由記述も用意した。

なお5段階選択方式の集計に関しては、4、5の回答はまとめて「当てはまる（積極派）」、1、2の回答はまとめて「当てはまらない（消極派）」として報告している。また、無回答は集計にカウントをしない。

- ・設問の傾向としては、

人間関係（コミュニケーション能力）と家庭環境

人と向き合って言いたいことが言える。そして、より良好な人間関係を築くためには、当然必要最小限の発語だけでは不十分であって、社交辞令なども必要となってくる。さらに目指すは「冗談の一つも言える」「人のジョークに笑える」社交的な「笑い」への理解である。

まずはコミュニケーションの基本である「喋る」という行為。

この「喋る」という行為における特性、つまり「シャベリ」や「無口」という特性が本人個体のものなのか、家族や家庭環境の影響をうけるのか。「喋る」ということにウエイトを置いていることを断っておく。

まずは、自分自身をどう分析するのか。果たして追大生には「お喋りやさん」が多いのか否かである。

「あなたはよく喋るタイプですか？」との問いに「当てはまる」と回答したのが224人（46.5%）、半数弱が「よく喋るタイプ」だと自認している。勿論その中には、無駄口の多い「単なるシャベリ」も含まれるであろうが、この際無口よりは善しとしよう。その「無口」に「当てはまる」と回答した学生が124人（約25%）もいることは看過しがたい。せめて、彼ら、彼女らは無駄口は叩かず「最低限言うことは言える」学生であってほしいものだ。

では、友人とのコミュニケーションはどうだろうか。

「友人とはよく喋りますか？」に「当てはまる」が360人（約75%）。これは相手のことが解っている、気心が知れているからよく喋るのであろう。当然といえば当然であり、「初対面の人とは喋ることができますか？」と問えば結果は大きく違ってくるだろう。



一方で「当てはまらない」と答えた学生が35人存在した。これは対人関係を拒絶しているということなのか。

では、より気心が知れている家族とはどうだろうか。

「家族とよく喋りますか？」との問いに「当てはまる」と回答したのは285人で全体の約59%、この数字は筆者の想像を超えた数字であった。意外に家族と喋っていることがわかった。一方、「当てはまらない」のが79人（約16%）であった。

まとめると

「あなたはよく喋るタイプですか？」	224人（46.5%）
「友人とはよく喋りますか？」	360人（74.7%）
「家族とよく喋りますか？」	285人（59.1%）

となる。

では、以上の3の設問の結果から、それぞれの関係性を考察してみる。

まず、「よく喋るタイプ」と自認している学生のうちで「友人とよく喋る」に「当てはまる」のが216人（44.8%）、その一方で「無口」で「友人とも喋らない」が27人（5.6%）いることがわかった。

また「よく喋るタイプ」と自認している学生のうちで「家族ともよく喋る」に「当てはまる」学生が160人（33.2%）であった。

一方で「無口で家族とも喋らない」と答えたのが35人（7.3%）いる。

そして「友人ともしゃべり家族とも喋る」と回答したのは251人（52.1%）であったが、「友人とも家族とも喋らない」と答えたのが15人（3%）いたことも事実である。

まとめると

「よく喋るタイプで友人とよく喋る」	216人（44.8%）
「よく喋り、家族ともよく喋る」	160人（33.2%）
「友人ともしゃべり家族とも喋る」	251人（52.1%）

となる。

ところで追大生が自分の家庭をどう感じているのか。「楽しい家庭ですか？」に「当てはまる」と回答した学生が61.6%の297人で、これも予想外の好結果。この結果は「家族とよく喋りますか？」に「当てはまる」と答えた285人（59.1%）とほぼ同様の数字であった。

では「よく喋るタイプ」に「当てはまる」学生のうち、どれくらいの人数が「とても楽しい家庭」に「当てはまる」のか。これには162人（33.6%）が「当てはまる」と回答した。つまり「自分はよく喋る」「とても楽しい家庭だ」ということである。これも前出の「よく喋るタイプ」で「家族ともよく喋る」に「当てはまる」と同様160人（33.2%）の結果だ。

では「家族とよくしゃべり」「楽しい家庭」に「当てはまる」と答えた学生はどのくらいいるの



か。51.2%、247人であった。つまり、よく喋る家族ほど楽しい家庭であると言える。

これらのことを総合すると「家族とよく喋り、楽しい家庭に育つとよく喋る人になる」と言うことができる。

さて、1対1のコミュニケーションではなく、1対多数の場合はどうなのか。学生のみならず社会へ出てからも機会が多いのがプレゼンテーションである。これは大勢の前で「喋る」能力、物怖じしないという姿勢が問われる。

半数弱の224人が「よく喋るタイプ」だと自認している追大生が「あなたは大勢の前で喋るのが得意ですか？」との問いに、果たしてどう答えたのか。「当てはまる（この場合は消極派になるが）」が91人（18.9%）と激減。自称「喋り」は多くても、大勢の前では途端に喋れなくなるのである。これは日頃の学生を観ていれば想像に難くない。

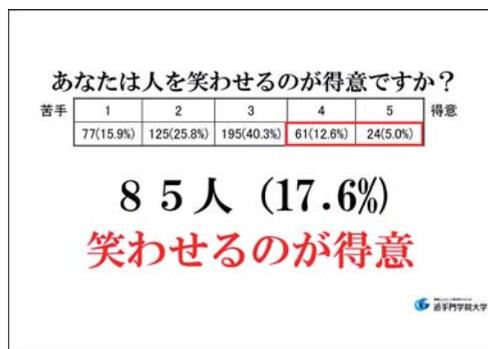
「大勢の前で喋るのが得意だ」とは意味合いは異なるが、人間関係を築く上である程度重要な要素であり、「積極性」の表われでもあるのが「目立ちたがり」と言う性格。

そこで「あなたは目立ちたがり屋ですか？」と聞いてみた。「当てはまる」が80人と20%にも届かない結果である。この「目立ちたがり」という言葉にマイナスのイメージを抱くのかかもしれないが、特に「笑い」を含んだコミュニケーションには必要な要素である。おとなしいのも美德ではあるが、学生は「目立ちたがる」くらいの度胸と積極性、元気強さが欲しいものである。

さて、ちょっと話は飛ぶのだが、「笑わせる」にも様々な手法がある。奇妙な動きや表情、予想外の行動などで笑いを誘うことは日常よくあることだ。しかし、よい人間関係を築くための「笑わせ」方としては、言葉によるものが適切であろう。つまり「冗談」が言えるかどうかである。

「あなたはよく冗談を言うタイプですか？」という設問に対して「当てはまる」と答えた学生は264人で全体の約55%であった。

「人を笑わせるのが得意ですか？」との問いには「当てはまる」が、482人中なんと85人と20%にも満たない。



「笑わせる」という能動的な日常行為に対して、対象が「ウケている」と判断するか「ウケていない」と判断するかによって「笑わせるのが得意か否か」の回答は迷うところであろう。約40%を

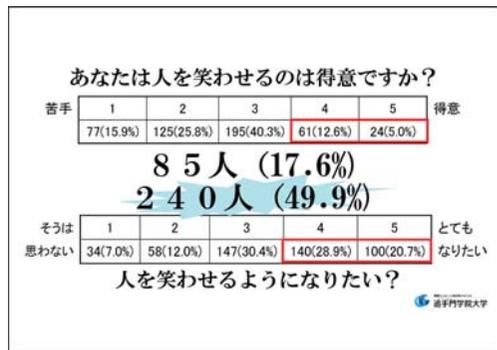


占める 195 人が 3 を選択したのは、その辺りにあるのではないだろうか。

家庭が好きな追大生は「家族を笑わせますか？」との間に「当てはまる」と答えたのが 228 人で全体の 47.3% であった。家族とはいい関係である。

さて先ほどの「人を笑わせるのが得意」が 85 人と 20% にも満たない追大生だが、果たして「人を笑せられるようになりたい」と思っているのだろうか。その問いかけに 240 人 (49.9%) と約半数が「なりたいたい」と望んでいることがわかった。

そう思わないと考えているのが 92 人 (19%) であることを考慮しても、基本的には「笑わせた願望」はあると考えてよい。



今回はアンケート結果の抜粋であり、研究の目標にどう繋がってゆくのかは、今後の経年調査の継続とともに、別のアプローチによって明らかになってゆくはずである。

最終的に「笑いを活用した教育プログラム」の開発に繋がることを信じつつ報告を終えることにする。

以上、発表要旨であるが、何とか無事発表を終え、応援の先生方から労いのお言葉を頂戴し、足取りも軽く？帰途に就いたことは言うまでもない。



2017

日本笑い学会第24回大会

プログラム

●日 時	7月15日(土)	受	付	10:00~			
		総	会	11:00~12:00			
		研	表	13:00~15:25			
		究	演	15:35~17:00			
7月16日(日)	懇	親	会	17:30~19:20			
	受	付	9:00~				
	研	表	9:20~11:45				
	究	表	12:30~13:40				
●場 所	石巻専修大学 5号館 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地	シ	ン	13:50~15:50			
		ン	ボ				
		ジ	ウ				
		ム					
●参加費	会	員	2000円	学生会員	1000円		
	非	会	員	1日券	1200円	学生	600円
	懇	親	会	費	4000円		

*会員証が名札代わりになりますので、必ず会員証を持参してください。

日本笑い学会

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-7-12-201

TEL 06-6360-0503

E-mail : warai@nwgk.jp HP : <http://www.nwgk.jp/>



第24回 大会プログラム

第1日

2017年7月15日(土)

10:00	受付開始	
11:00	開 会	(大ホール5301)
11:00	総 会	
	開会挨拶	日本笑い学会会長 森下 伸也
	来賓挨拶	石巻専修大学学長 尾池 守
11:15~12:00	総会議事	①前年度活動報告 ②会計決算報告 監査報告 ③事業計画 予算案 ④その他
12:00~13:00	休 憩	
13:00~15:25	研究発表・ワークショップ	
13:00	{ <ul style="list-style-type: none"> ①研究発表「お笑い番組の語られ方—新聞・雑誌記事からの一考察—」 石田 万実 (大ホール5301) ②ワークショップ「『たおるマジック』でみんな笑顔に!!」 占部 千代子 (教室5302) ③研究発表「明治・大正期のギャグマンガにおける文明開化 —北澤楽天の「新版膝栗毛」を中心に—」 BORTER Matthieu (ボルテール・マテュー) (大ホール5301) ④ワークショップ「“にほんglish”と替え歌手遊び」 小笠原 大輔 (教室5302) ⑤研究発表「女流江戸狂歌の魅力〜知恵内子と節松嫁〜」 野中 由彦 (大ホール5301) ⑥ワークショップ「歌って 手遊び ご健笑…」 笑ったら私の心と体はどうなった?…」 阿部 真宜・阿部 洋子 (教室5302) }	
13:25		
13:30		
13:55		
14:00		
14:25		



- | | |
|-----------------|--|
| 14 : 30 | ⑦研究発表「イギリス演劇の笑いの仕掛けとユーモアのセンス
—ラティガン劇を中心に—」
落合 真裕 (大ホール5301) |
| 14 : 55 | |
| | ⑧ワークショップ「『笑いの呼吸法』で声量感UP!!
～出やすくなった自身の声を体感下さいませ～」
万代 京央子 (教室5302) |
| 15 : 00 | ⑨研究発表「プレヴェールのシャンソンと笑い」
戸板 律子 (大ホール5301) |
| 15 : 25 | |
| | ⑩ワークショップ「一創作の踊り—笑って健康・笑顔で長生き
『岸壁の母』を踊って15年」
鈴木 正平 (教室5302) |
| 15 : 35～17 : 00 | |
| | 記念講演「被災地 石巻に笑顔を取り戻すために」 (大ホール5301)
亀山 紘 (石巻市長/日本笑い学会石巻支部長) |
| 17 : 30～19 : 20 | 懇 親 会 会場 飛翔閣 |

第2日

2017年7月16日(日)

- | | |
|----------------|---|
| 9 : 00 | 受付開始 |
| 9 : 20～11 : 45 | 研究発表・ワークショップ |
| 9 : 20 | ⑪研究発表「小学校の『落語クラブ』活動でみえた子どもの華麗な変身」
遠藤 謙一郎 (大ホール5301) |
| 9 : 45 | |
| | ⑫研究発表「我笑う、ゆえに我なし “Flow” 状態としての笑いの『最中』」
森下 淳子 (教室5302) |
| 9 : 50 | ⑬研究発表「子どもの『ユーモア能力』育成のための方法・教材の検討」
青砥 弘幸 (大ホール5301) |
| 10 : 15 | |
| | ⑭研究発表「心理的安全性と笑い—観客(受け手・聞き手)が笑いに及ぼす影響—」
矢島 伸男 (教室5302) |
| 10 : 20 | ⑮研究発表「生後4ヶ月までの乳児の自発的微笑と
社会的微笑の関係に関する一考察」
池田 正人 (大ホール5301) |
| 10 : 45 | |
| | ⑯研究発表「仏典の中の‘笑い’(11) —『十住毘婆沙論』を中心に[上]—」
小森 英明 (教室5302) |



- 10:50 { ⑰研究発表「幼児期における笑いの不愉快さの理解と感情理解
および心の理論に関する縦断的調査」
伊藤 理絵 (大ホール5301)
- 11:15 { ⑱研究発表「高齢者対象講座における 笑いのアクティブラーニング効果」
堀 登志子 (教室5302)
- 11:20 { ⑲研究発表「『若者の笑いに関する調査報告』～漫才で揉めない? 追手門学院大学～」
高垣 伸博 (大ホール5301)
- 11:45 { ⑳研究発表「滑稽に見えること／滑稽であること」
鶴子 修司 (教室5302)

11:45～12:30 昼 食

12:30～12:40 ㉑パフォーマンス部門「笑って健康カードーあなたが大笑(大将)ー」
松本 正美 (教室5302)

12:45～13:40 研究発表

- 12:45 { ㉒研究発表「PTSD状態を起こさなくなった笑いの力ー交通事故の記憶よりー」
中村 富美 (大ホール5301)
- 13:10 { ㉓ワークショップ「即興劇(インプロ)と笑いやすい環境作りについて」
野村 真之介 (教室5302)
- 13:15 { ㉔研究発表「笑いとユーモアの問題点は何か?」
瀬沼 文彰 (大ホール5301)
- 13:40 { ㉕ワークショップ「『バナナのたたき売り』の会場は笑顔の宝庫」
間 六口 (教室5302)

13:50～15:50

シンポジウム「被災地に笑顔を・その取り組み」 (大ホール5301)

コーディネーター 亀山 紘 (石巻市長 日本笑い学会石巻支部長)
パネリスト 長谷川啓三 (東北大学名誉教授 日本笑い学会東北支部)
大平 哲也 (福島県立医科大学 日本笑い学会理事)
千葉 俊一 (歯科院長 日本笑い学会東北支部長)
中村 礼子 (コープフードバンク事務局長
日本笑い学会石巻支部・副支部長)

15:50 閉会挨拶 日本笑い学会副会長 鳶野 克己



石巻専修大学

【食 堂 案 内】

昼食は、7月15日(土)・16日(日)とも、
学生会館1階にある食堂でお願いいたします。
定食類、麺類、カレー類など、
メニューは8種類ほどご用意しています。

*大学の300メートル東側にコンビニ（ミニストップ）があります。
500メートル東側にコンビニ（ローソン）があります。

賛 助 会 員

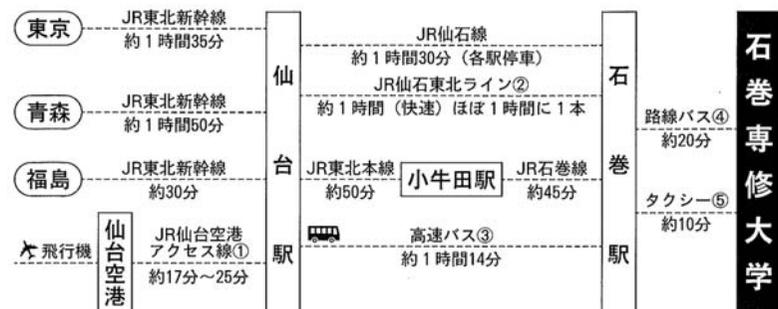
吉本興業(株) 松竹芸能(株) 社会福祉法人 永甲会 うねめの里
(医)柏葉脳神経外科病院 山中胃腸科病院 (株)春陽堂書店
(株)三重平安閣 チルコロ 岡本比呂樹



◆会場 石巻専修大学 5号館

【所在地】〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地

【交通アクセス】JR仙石線・JR仙石東北ライン石巻線石巻駅下車



①仙台空港～仙台：JR仙台空港アクセス線をご利用ください。約17分～25分で、650円。

②仙台～石巻：JRご利用の場合、仙石東北ラインの快速は約1時間で、840円。

*仙台発も、石巻発も、ほぼ1時間に1本、運行します。

JR仙石東北ライン（快速）～7月15日（土）・7月16日（日）共通

「仙台発（石巻着）」 7：24（8：20着） 8：20（9：20着） 9：24（10：16着） 10：15（11：17着） 12：17（13：15着）
13：16（14：17着） 14：16（15：17着） 15：16（16：16着） 16：14（17：11着） 17：11（18：10着）
18：10（19：16着） 19：26（20：24着）

「石巻発（仙台着）」 8：12（9：18着） 9：03（10：04着） 9：58（11：04着） 10：59（12：02着） 11：52（12：55着）
13：53（15：03着） 14：58（16：00着） 15：52（16：40着） 16：54（17：49着） 17：53（18：52着）
18：59（19：56着） 19：58（20：56着） 20：58（21：50着）

③仙台～石巻：高速バス利用の場合、仙台駅西口エデン前21番のりばから、石巻駅前まで。約1時間14分で、800円。

④石巻～石巻専修大学：バス利用の場合、石巻駅前3番のりばから、石巻専修大学まで（北門前に着きます）。約20分で、260円。

「石巻駅前発～石巻専修大学へ」 土曜／8：05 8：25 9：10 10：25 11：05 13：00 14：00 15：55 17：00
日曜／9：10 11：05 13：00 14：00 15：55

「石巻専修大学発～石巻駅前へ」 土曜／8：09 8：35 8：55 10：55 11：52 13：52 14：52 16：52 17：30 17：57
日曜／8：09 11：52 13：52 14：52 16：52 17：57

*7月16日（日）大会終わりの午後4時すぎに、石巻専修大学から「石巻駅前行きの臨時バス」を出します。（2往復）

⑤石巻～石巻専修大学：タクシー利用の場合、約10分で1500円位です。

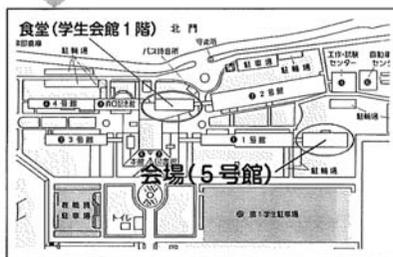
降車は、石巻専修大学の北門前で。（北門から5号館まで約80m）

石巻駅前がタクシーは見つかりますし、石巻専修大学では呼べば来てくれます。

〈石巻大会参加者と相乗りすると、スピーディに安く行けます〉。

*7月16日（日）朝8時半前後から2時間ほど、石巻支部の係員が「石巻駅前のタクシー乗り場」に待機。

「石巻大会参加者同士で、相乗りしましょう」と誘導してくれます。



「落語鑑賞会」桂團治郎氏・桂米紫氏・桂南天氏の落語を聞いて

追手門学院大学笑学研究所所員、社会学部・講師 横田 修

その日、追手門学院大学に「笑い」の花が咲きました。

笑学研究所が主催する落語鑑賞会は、研究員にとっては「笑い」に関するアンケートを取る場です。しかしそれ以上に、寄席に行かずともプロの落語家の噺を楽しめるという意味で、大変有り難く、贅沢な機会でありました。社会学部の講義「文化と社会」を履修する269名の一年生と教職員、さらに一般のお客様と共に体験した落語は、三名の噺家（桂團治郎氏、桂米紫氏、桂南天氏）による素敵な時間であったのです。

日時：2018年1月12日（金）3限（13時20分～14時50分）

会場：追手門学院大学・学生会館ホール

生で体験する落語の魅力

当初、噺家の皆さんに向けて所長の高垣より、学生達が授業で映像鑑賞を済ませている「狸賽」^{たぬさい}を演って欲しいと希望を出していました。しかし、噺家がどの噺をするかは基本的にはその日その場の様子（雰囲気）で決めるため約束はしかなねとのことでした（実際には桂團治郎氏が狸賽を演ってくださいました）。

ここでいう、その日その場の様子（雰囲気）というものを、噺家の皆さんはどのように捉えているのでしょうか。桂團治郎氏、桂米紫氏、桂南天氏の順番でご登壇頂きました。会場の様子だけでなく、先の出演者の内容を聞いてから噺を決めることもあるでしょう。仮に各々が10のレパトリーをお持ちとするなら、10×10×10で1000通りの組み合わせが考えられます。枕だって観客次第で変えてくるに違いありません。例え同じメンバーによる落語会を鑑賞したとしても、これなら飽きることはないでしょう。もちろん、ある程度のパターンはあるのだと思いますが、その組み合わせを楽しむ通な方も、中には居るのではないのでしょうか。

落語とは、寄席や落語会に足を運んで、生で観てこそその真価を享受することができます。この点は演劇等、他の舞台作品にも通じるところなのですが、さすがに当日内容を決めることはありません。YouTubeなどネット・メディアを利用し、気に入った噺家の気に入った噺だけを視聴する



のも悪くありませんが、それだけでは、落語の面白さのごく一部しか享受できないのです。

「イメージの共有」と落語のマクラ

ご存じの通り、落語は一人で複数の人物を演じます。当然、彼ら・彼女らのやり取り（会話）を聴きながら、観客は話の内容とコンテクストを理解しなくてはなりません。この辺りも落語と演劇は似ています。上手く行かないと観客は笑うことができない上に感動や関心も望めません。例えば故・蜷川幸雄氏の舞台では、冒頭に大きな効果音や音楽が流れることが多々ありました。実はこれは観客と舞台が一体になることを促す演出方法の一つなのですが、演劇の世界では、これを「イメージの共有」と呼びます。落語家と観客の間でも当然、この「イメージの共有」が大切になります。

今回お招きしたお三方のお話は以下の様でした。

桂團治郎氏	たぬさい 狸賽
桂米紫氏	ちようずまわ 手水廻し
桂南天氏	どうぶつえん 動物園

落語の冒頭にはマクラが付きものですね。観客と演者が「イメージの共有」をするために、マクラは大変重要な役割を担っています。米紫氏は、芸人の宮川大輔に顔が似てるという大変分かりやすいツカミから、学生達も利用する電車で出会った、ある若い男の悲劇、そして旅先の言葉が分からないという流れから手水廻しへ繋がると記憶しています。米紫氏のマクラは、手水廻しを知らない私や学生にとって大変有り難く、そして、本当に無くてはならないマクラでした。

一方、私が米紫氏のマクラに増して、大変素晴らしく感じたのは南天氏のマクラでした。私の理解では、最初は観客に「聞いたことありませんか？」と問いかけつつ、古今東西の様々なダジャレやジョークを披露してました。そして学生がドッと湧いた瞬間を見逃さず、一気に落語・動物園を始めます。もちろん落語の内容も素晴らしかったのですが、私はオチが終わった後に衝撃を受けました。メインの落語が、マクラで行っていたダジャレやジョークの披露、その続きだったのです。後で調べたところによると、落語・動物園の原話は外国に広まるジョークで、2代目桂文之助が落語に仕立てたのだとか。長い長いマクラを終えて、ぶいっと立ち去る南天氏に思わず「おい、それで本編は？」とツッコミを入れたくなるような、大変な置いてけぼり感に私は痺れてしまいました。

今回の米紫氏の他、多くの落語家達のマクラが「イメージの共有」のため必要な段取りだとするのなら、南天氏のマクラは、マクラと落語の境目が無く、ただ演者とやり取りをしているだけで気づいたらお話の世界に取り込まれてしまうという、まるで段取り破りのマクラなのに、他のマクラ以

横田 修：「落語鑑賞会」桂團治郎氏・桂米紫氏・桂南天氏の落語を聞いて



上の広がりを感じて、私は大変惹かれたのです。

おわりに

短い体験でしたが、学生達にとっても、生の落語を楽しむことのすばらしさを感じ取れる大変良い機会であったと思います。三人の落語家の皆様、本当にありがとうございました！



写真：落語鑑賞会の様子（左より 桂 團治郎 氏、桂 米紫 氏、桂 南天 氏）



「落語鑑賞会」特別観覧

～プロの落語を生で見てもみませんか？～

社会学部「文化と社会」の授業です。履修生以外にも観覧募集をいたします。
落語家3名による豪華プログラム。ぜひこの機会にプロによる生の落語をご覧ください！

日時：2018年**1月12日（金）3限**
(13:00開場 13:20開演)

場所：学生会館 大ホール

定員：80名（先着順）※鑑賞後にアンケートへのご協力をいただきます。

学生限定！

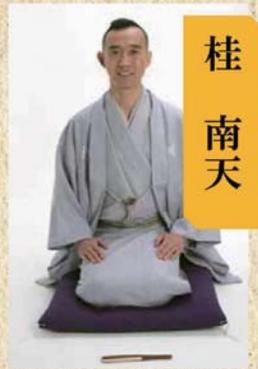
出演：桂 團治郎 桂 米紫 桂 南天
三味線・大川貴子



桂
團治郎



桂
米紫



桂
南天

★お申込み先★

タイトルを「落語会申込み」とし、氏名、学籍番号、
連絡先のメールアドレスをご記入の上、以下にお送り下さい。

showgaku@otemon.ac.jp (笑学研究所)

お問合せ：072-665-5024

QRコードからメール作成ができます！→



主催：追手門学院大学 笑学研究所

協力：株式会社 米朝事務所

「落語鑑賞会」特別観覧 チラシ

第3回笑学研究所公開講座「障がいと笑い」に登壇をして

追手門学院大学笑学研究所客員研究員 大谷 邦郎

2018年3月12日。講座終了後、彼らは口をそろえてこう話してくれました。

「よき機会を得ました。ありがとうございました」と。

彼らとは、お笑いトリオ「エムズトリック」。リーダー格の元村祐子さんと、ネタ担当の森村誠さん。そして一番若い岡本康平さんの3人です。彼らは皆さんそれぞれ別にお仕事を持っておられますので、プロのお笑いタレントではありません。こうして声がかかれば、お笑いを披露して下さるいわば素人集団です。しかし今回この公開講座でもゲストとして登場して下さった彼らのコントは、大いに会場を盛り上げ、観客の笑いを誘っていました。

少しそのコントのあらすじをご紹介します。設定はレストラン。客が一人。店員に訊きます。「この店のお勧めはなんですか?」。店員は答えました。「広い駐車場ですね」と。ずっこける客。そして、こう言います。「お勧めと言えば、メニューのことやろ!」と。それに対して店員は言います。「なら、そう言って下さい」。客はしかめっ面をしながらも、こう会話を続けます。「メニューの中では、何がお勧めなのですか?」「それなら、パスタです」「では、君がお勧めするパスタを教えてください」「カルボナーラーの温泉卵乗せ、ですかね」「おっ。美味そうだなあ。では、それを一つ」「それは無理!」「って、お勧めのパスタが、そのカルボナーラーの温泉卵乗せ、なんだろ!なぜ無理なんだ?」「だって、それは隣の店のメニューだから。あれは美味しいですよ」「っ

て、この店のとちゃうんかい!」と言ったような内容です。

いやあ、実際本当に面白かったです。しかし、それはただただ、ただただ彼らの日常を、少しオーバーに表現していただけたのですが。そうなのです。彼らの日常こそが、お笑いの宝庫なのです。その彼らとは、一体何者なのか?その彼らの日常が、何故お笑いの宝庫なのか?実は、3人共に障害があります。元村さんと岡本さんには、発達障害が。そして森村さんには、かつては「躁うつ病」



コント「レストラン」～発達障害にまつわるエトセトラ (エムズトリック)



と言われた双極性障害があるのです。彼らはそんな自らの障害をネタに笑いを取っているのです。今回のネタのタイトルは、ずばり「レストラン」。そして、サブタイトルが「発達障害にまつわるエトセトラ」でした。果たしてこれは、オーバーに言えば「許されること」なのか？それとも「背徳の笑い」なのか？それこそが、今回の公開講座のテーマだったのです。

さてそのテーマに関して論じる前に、今回のお笑いのネタになっていた「発達障害」について、公開講座でもコントの前に筆者が講演をさせていただいたように、ここでも少しご説明をしておきましょう。

例えば「アスペルガー症候群」と言った言葉はお聞きになったことがあろうかと思いますが、「場の空気が読み取れない」「感情表現が苦手」「話を聞いて理解するのが苦手」と言った特性を持つ「自閉症スペクトラム」や、「片付けるのが苦手」「時間管理が苦手」と言った「注意欠如・多動症」、さらにLDと呼ばれる「学習症」の3つのカテゴリーがあると言われ、中にはこれらの特性が複数見られる方もおられます。メンバーの一人、元村さんが実際に、この“複合型”です。

また決して知的レベルが低い訳ではなく、高学歴の方々にも多数おられます。なかなか一言では説明しづらいのですが、厚生労働省のホームページには、この発達障害の定義をこう示しています。

「生まれつき脳の発達が通常と違う」「自分自身のもつ不得手な部分に気づき、生きにくさを感じる」

「先天的なハンディキャップではなく、一生発達しないものでもない」

「支援のあり方によって、それがハンディキャップとなるのかどうかが決まる」と。

しかし、明確な原因はまだ分かっていません。ただ、はっきりしているのは「生まれつき脳の発達が通常と違う」と言う点です。かつては、こうした特性のある人たちは、親の躰がなっていないであるとか、本人の努力不足かと言われていましたが、決してそうではないのです。ですから、この発達障害の診断を受けた方の中には「ホッとした」と言う感想を述べる方々も多くおられます。そして、そうした「発達障害」の特性のある人は、総人口の6.5%、あるいはそれ以上に達すると言われてしています。

筆者は、かつて発達障害のある人たちに話し方をレクチャーしたことをきっかけに親しくなり、2年ほど前からNPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会）の監事を務めております。それだけに多くの当事者の方々と接してきましたが、そこで驚いたのが、彼らの中の何人かが「人が笑っているのに、自分は何が可笑しいか分からない時がある」と話したことです。「笑いが分からない時がある」。これは衝撃でした。笑いは万人にとって人間関係の潤滑油だと思っていただけに、その常識が打ち砕かれた気がしました。しっかりとしたデータはまだとっていませんので正確なことは言えませんが、グループインタビューなどでは、半数を超す発達障害の当事者たちが、「笑いが分からない時がある」とそう言います。しかし、これは彼らの特性を考えれば当然のことかも知れません。と言うのも、彼らはまず「話を聞いて理解するのが苦手」で、「表情や身振りを読み取るこ



講演「ご存知ですか？ “発達凸凹”」（大谷邦郎）

とが苦手」「他人の感情を考慮するのも苦手」だからです。ですから言葉の裏に潜む「笑い」に繋がる「感情」や「ニュアンス」が分からないことが多いのではないのでしょうか。例えば、彼らに「早く帰りなさい」と伝えてもなかなか理解してもらえないときがあります。「〇時には帰りなさいね」と具体的に指示する必要があります。また、「このお鍋、見ておいてね」とお願いをすると、沸騰して出汁が吹きこぼれていても、じっとただ見ているだけ、と言うこともあります。「なぜ、

ガスを止めてくれなかったの！」と声を荒げても「見ておいてね、と言ったじゃないか」と反論され、思わず絶句する始末。それだけでなく「あなたは、エ・ラ・イわね～」と皮肉を込めて言ったとしても、真顔で「どうもありがとうございます」と言われる可能性すらあります。

さらに、こんなこともよく聞きます。「恋愛が苦手」だと。「付き合う時、誘う時、それはどんなタイミングが分からない」「恋愛のその定義を教えて欲しい」「何回目の食事で告白したらいいのだろうか？」「恋愛と言う“目に見えないもの”は不安です」と。少し悲しいけれど、やはり何処か可笑的。そう。これが彼らの日常に実際起こり得ることなのです。ほら、彼らの日常は笑いの宝庫だと言うことが理解していただけたかと思います。

さあそこで、今回の公開講座のテーマに戻りましょう。障害を笑いのネタにすることは許されることなのでしょうか？

講座の中で笑学研究所所長の高垣先生もご紹介されておりましたが、落語の中には障害者を扱うネタもいくつかあって、かつて寄席では演じられていたものが、テレビなどのオンエアーからは、いつの間にか“排除”されていったものもあります。例えば古典落語でかつては上方演目の代表作の一つと言われた「景清」と言うお噺があります。しかし、最近はとんと耳にしません。それは主人公が視覚障害者で、その主人公に向かって「その方、悪業因縁深きゆえ、その方の目は治らぬ」と言った台詞があるからです。ですから、筆者もこの「障害と笑い」は実にナイーブな問題と捉えていたのですが、実は当事者にとっては、そうでもなかったのです。

もう一度、今回コトを披露してくれた「エムズトリック」について説明を加えましょう。彼らがトリオを組んだのは2016年4月のこと。Eテレが放送している障害者のためのバラエティー番組「バリバラ」が主催した障害者の中で誰が面白いかを決める「SHOW-1 グランプリ」に出場したいがため。実際、出場を果たし、その回では、9組中7位の成績を取っています。また同年の11月に行われた大型人権啓発イベント『ヒューマンライツフェスタ東京 2016』にも出演しています。なぜ、彼らがこうしたテレビ番組やイベントに出場したかったのか？それは、この講座の中で



パネルディスカッション
(左から 高垣、大谷、元村、森村、岡本)

も次のように語ってくれました。

「難しい言葉を使って説明するのではなく、笑いながら障害のことを分かってもらいたいからです」と。またこうも言います。

「笑ってもらえたら嬉しい」。

一方、こうも言います。「無視されるのが一番辛い」と。ならば、大いに笑ってもらって、その一環で、障害に関しての理解を進めたいと願っているのです。なるほど。障害をネタとする笑いを過度にタブー視する必要はないようです。筆者がかつて行ったグループ

インタビューで「障害をネタに笑うことは許されるか」と問うと、やはり大半は「ケースバイケースだ」と答えましたが、「許されるものではない」と言う回答はゼロで、反対に「大いに笑って欲しい」と言う回答が、「ケースバイケース」と言う回答に迫るほどの数を占めていました。

公開講座の途中、彼らが言った一言が記憶に残ります。「笑ってはいけないと言う人たちの多くは、健常者ですよ」と。今流行りの言葉で言えば、過度な“忖度”だったのかも知れません。

但しです。高垣先生も、エムズトリックのメンバーをパネラーとしたパネルディスカッションで何度かお聞きになっておりましたが「他の障害、例えば発達障害の演者が身体障害をネタにするのはどうか？」と言う質問に関して、彼らも、「他の障害の方々の苦労は分からないのでネタも書けないと思うが、書けたとしてもそれは笑いの種類が変わってくるのでは」と答えるなど、あくまで自分の障害をネタに演じ、それが自らの特性の理解に繋がるのであれば、「こうした笑いも“あり”だと思う」と言うのが彼らの意見のようでした。もちろん、それでも人によるが、と言う注釈付きではありましたが。

さて、今回のこの公開講座を通して感じたことは、改めて笑いは難しい、深遠だなど言うことでした。笑いは時に人を傷つける「刃」になります。しかし、その刃だと思っていたものが、別の人にとっては、実に温かな花一輪のように受け止められている可能性もある。

笑いはかくも複雑です。

ただ、当日の会場は実に和やかなムードに包まれていました。これも笑いの力かと。やはり笑いの「プラスの面」の力の方に光を当てていきたいものだと、改めて思わせてくれた公開講座でした。ご参加いただいた皆様、ご準備いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。(了)



次なる
茨木へ。
茨木市立・追手門大
平成30年は市制施行70周年

茨木市×追手門学院大学 連携講座
追手門学院大学 第3回笑学研究所公開講座

現代未開 追手門
130年の伝統を革新の力

障がいと笑い

— 笑って、知って、理解して —

笑う門には
福来る

「笑い」はコミュニケーションの潤滑油。

しかし、時には人を傷つける場合も。特に障がい者や障がいをネタにした笑いはタブー視されることもあります。本当にそうなのでしょうか？そこで、自らの障がいを笑いのネタにコントを披露している当事者をお呼びして、「障がいと笑い」、なかでも、「見えない障がい」と呼ばれる「発達障害」と笑いについて楽しく考えます。まずは知って欲しい、それが当事者たちの希望なのですから。

プログラム

17:30	開会
17:35	講演「ご存知ですか？“発達凸凹”」 NPO法人発達障害を持つ大人の会 監事 大谷 邦郎
18:10	コント「レストラン」 ～発達障害にまつわるエトセトラ～ エムズトリック
18:25	パネルディスカッション パネリスト：大谷邦郎、エムズトリック コーディネーター：笑学研究所員



大谷 邦郎



エムズトリック

難しい言葉を使って説明するのではなく笑いながら障害のことを分かってもらおうと、2016年4月結成。初出場した障害者のためのバラエティー番組 NHK「バラバラ」の第6回SHOW-1グランプリでは9組中7位の成績を収める。2016年11月に行われた大型人権啓発イベント「ヒューマンライツフェスタ東京2016」にも出演。発達障害の元村と岡本、双極性障害の森村と、3人とも体調に波があるため、健康第一に今後も無理のないペースで活動を継続していく予定。

2018年3月12日(月)

参加無料

時間 17:30-19:30(開場17:00)

会場 茨木市立男女共生センター ローズWAM
地下2階フムホール

定員 150名
申込先着順
定員になり次第、締め切らせて頂きます

申込方法

①お申し込みフォーム(右のQRコードからお申し込み下さい。)

②メールまたはFAX
件名「3/12公開講座」、氏名、住所、電話番号、所属(任意)を記入の上でご送信ください。
メール/showgaku@otemon.ac.jp FAX/072-665-5034



お問い合わせ

追手門学院大学 笑学研究所
TEL/072-665-5024



大阪府 茨木市 Ibaraki City × 追手門学院大学

2017 年度笑学研究所活動記録

2017 年

- 4 月 7 日～7 月 21 日（金曜 3 限）笑学入門開講（全 15 回）
- 4 月 20 日 第 1 回所員会議 於：本学研究所
- 5 月 18 日 第 2 回所員会議 於：本学研究所
- 6 月 22 日 第 3 回所員会議 於：本学研究所
- 7 月 16 日 日本笑い学会 24 回大会（於：石巻専修大学）
「若者の笑いに関する調査報告」発表：高垣伸博
- 7 月 20 日 第 4 回所員会議 於：本学研究所
- 9 月 21 日 第 5 回所員会議 於：本学研究所
- 10 月 6 日 茨木市×追手門学院大学連携講座（於：三島コミュニティーセンター）
「笑いとコミュニケーション」講師：高垣伸博
- 10 月 7 日 共同研究会「なにわ大阪の演芸放送と笑い」（於：関西大学千里山キャンパス）
関西大学なにわ大阪研究センターと笑学研究所の共催
「テレビのエゴ！演芸を映像にすることとは？」高垣伸博
「現場から見た当世お笑い事情」
村田元氏（毎日放送報道局チーフプロデューサー）
「戦後～昭和 30 年代のなにわ大阪の演芸放送」
～「公益信託高橋信三記念放送文化振興基金」助成研究の中間報告～
浦和男氏：関西大学人間健康学部准教授
- 10 月 19 日 第 6 回所員会議 於：本学研究所
- 11 月 4 日 第 1 回追手門学院ユーモアスピーチコンテスト開催（3 号館 3106 教室）
- 11 月 30 日 第 7 回所員会議 於：本学研究所
- 12 月 14 日 第 8 回所員会議 於：本学研究所

2018 年

- 1 月 11 日 第 9 回所員会議 於：本学研究所
- 1 月 12 日 「落語鑑賞会」開催（学生会館 社会学部 1 年生 文化と社会合同授業）
出演 桂團治郎「狸賽」 桂米紫「手水廻し」 桂南天「動物園」
- 2 月 22 日 第 10 回所員会議 於：本学研究所

- 3月12日 第3回笑学研究所公開講座 於：茨木市立男女共生センターローズ WAM ワムホール
「障がいと笑い」講演：大谷邦郎客員研究員
「コント」エムズトリック
パネルディスカッション
- 3月15日 第11回所員会議 於：本学研究所

2017 年度笑学研究所所員および研究員一覧

所 長	高垣 伸博	国際教養学部 教授（マスコミ論、放送演芸論）
特別顧問	坂井東洋男	追手門学院大学学事顧問、元学長
特別顧問	西上 雅章	通天閣観光（株） 代表取締役社長、追手門学院大学客員教授
副 所 長	木村 英樹	国際教養学部教授（言語学、中国語学）
所 員	浦 光博	心理学部 学部長・教授（社会心理学）
所 員	真銅 正宏	図書館・情報メディア部部长、国際教養学部教授（日本近代文学）
所 員	横田 修	社会学部専任講師（演技・演劇論）
客員研究員	大坂 幸司	株式会社日本旅行勤務、追手門学院大学校友会理事
客員研究員	大谷 邦郎	グッドニュース情報発信塾塾長、NPO 法人発達障害を持つ大人の会（DDAC） 監事、元・MBS ラジオ報道部長
客員研究員	瀬沼 文彰	西武文理大学兼任講師、桜美林大学非常勤講師、日本笑い学会理事
客員研究員	広瀬 依子	追手門学院大学 非常勤講師、元・雑誌「上方芸能」編集長

追手門学院大学笑学研究所規程

2015年9月4日

制定

(設置)

第1条 追手門学院大学（以下「本学」という。）に、笑学研究所（以下「研究所」という。）を設置する。

(目的)

第2条 研究所は、本学の総合大学としての学問的蓄積を生かし、人類の誇りうる能力であり文化である笑いを対象にした、総合的な学問研究を発展させることを目的とする。

(事業)

第3条 研究所は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 笑いとユーモアの文化に関する研究
- (2) 笑いを活用した教育プログラムに関する研究
- (3) 上方芸能に関する研究
- (4) 笑いに関する図書及び資料等の情報収集並びに提供に関する事。
- (5) 笑いに関する教材等の編纂並びに出版物の刊行に関する事。
- (6) 研究会および講演会・シンポジウム等の開催
- (7) その他研究所の運営に関する事。

(所長)

第4条 研究所に、所長を置く。

- 2 所長は、学長の推薦により常任理事会の議を経て学長が任命する。
- 3 所長は、研究所を代表し、研究所の運営を統括する。
- 4 所長の任期は、4月1日から2年間とし、年度の途中で任命された場合は、就任した年度の翌年度の4月1日から起算して2年を経過する日までを任期とする。ただし、再任を妨げない。

(副所長)

第5条 研究所に、副所長を置くことができる。

- 2 副所長は、所長の推薦により、学長が任命する。
- 3 副所長は、所長を補佐し、所長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 副所長の任期は、4月1日から2年間とし、年度の途中で任命された場合は、就任した年度の翌年度の4月1日から起算して2年を経過する日までを任期とする。ただし、再任を妨げず、所長の終期を超えることができない。

(所員)

第6条 研究所に、所員を置くことができる。

2 所員は、大学の専任教職員の中から、第2条の目的を達成するために必要な専門性を有する者を所長が推薦し、学長が委嘱する。ただし、任期は2年とし、再任を妨げない。

(客員研究員)

第7条 研究所に、客員研究員を置くことができる。

2 客員研究員は、学外の有識者の中から、第2条の目的を達成するために必要と判断される者を所長が推薦し、学長が委嘱する。ただし、任期は1年とし、再任を妨げない。

(特別顧問)

第8条 研究所に、特別顧問を置くことができる。

2 特別顧問は、所長の推薦により学長が任命する。

3 特別顧問は、研究所の事業推進について所長に助言等を与える。

(事務の所管)

第9条 研究所の事務は、研究・社会連携課の所管とする。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学教育研究評議会の議を経て学長が決定する。

附 則

この規程は、2015年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、2016年4月1日から施行する。

追手門学院大学笑学研究所年報 第3号

2018年3月30日発行

発行者：追手門学院大学笑学研究所

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番地15号

TEL：072-665-5024

印刷所：協和印刷株式会社

〒615-0052 京都市右京区西院清水町13

TEL：075-312-4010
